

学校 番号	66	学校名	飯田 OIDE 長姫高等学校
----------	----	-----	----------------

## 令和2年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和2年 9月 2日（水）実施】

### 1 実施概要（協議研究事項を含む）

- 1 学校評議員委嘱
- 2 学校長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 本校の概要説明
  - (1) 学校自己評価について
  - (2) 本校の状況について  
ア生徒会 イ生徒指導 ウ進路状況 エ定時制 オ地域協創推進室より
- 5 協議
  - (1) 学校評議員からの提言
  - (2) 協議

### 2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・例年は7月の文化祭見学後に評議員会を開催していたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う臨時休校の影響により夏季休業明けの9月に延期した。
- ・休校期間中の課題等の学習指導の概要と評価、不足授業の補充計画や休校中の生徒生活アンケートなどを参考資料として配付した。
- ・文科省指定「地域協創スペシャリスト育成プログラム」の昨年度事業詳細報告と今年度の予定等について説明を行った。
- ・6月の学校再開後、約3ヶ月の期間の取り組みの様子が伝わるよう教務広報係作成のリーフレット「OIDE 長姫通信」や、新聞記事を集約した冊子を準備した。

### 3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・新型コロナ感染症拡大によりもたらされたストレスや将来への不安、疲労の蓄積等を懸念し、そのケアが急務であるとの提言を複数いただいた。また、このよう状況下では生徒が自ら考え判断し、責任を持った行動がとれることの重要性について意見が出された。
- ・今後の生徒減により再度の高校再編が想定されるが、地域の産業の担い手の育成のために専門高校の維持が必要との意見が出された。

### 4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・今後コロナ禍の影響を受けた困難な情勢下で教育活動を続けていく上で、教育計画を柔軟に練り直していくことの必要性について指摘が出された。
- ・1学期は学習活動が大きく制限されたが、2学期以降は各種講習会の開催や課題研究での技術協力等、直接生徒に関わる部分での協力と支援を各評議員に依頼し、制度の活用を進めていきたい。
- ・定時制の実情や取り組みの成果に関する報告、地域に向けての情報発信などを話題とし、本校に寄せられる期待や今後の方向性に向けて意見交換を行った。